

空き家情報集約のプラットフォーム化と共生都市～まちが百貨店～構想の推進

(特定非営利活動法人ひらた空き家再生舎)

課題	○平田地域の空き家600件のうち、空き家バンク登録6件 (空き家を利用したい人はいるが所有者は利活用に関心がない)
目的	□空き家利活用モデル(成功例)をつくって、所有者に処分のアクションを促す □空き家でやりたい、使いたい、の中核となり、空き家に対する快情報を発信することで、地域内劇場型空き家対策モデル(自称)で情報が自然と集まる仕組み作り
取組内容	① 一月に一回の空き家相談会の開催 ② 平田高校生とのワークショップの実施 ③ タウンミーティングの開催(合計2回) ④ 空き家情報の発信スペースとして多目的無料空間を常時提供 「すずかけ荘」(昨年度平田高校と設立した多目的空間&シェアハウス)の拠点化 無料開放で空き家、空き地利活用の実践と空き家相談会の開催で情報収集 ☆平田高校生とワークショップ形式で「すずかけ荘」利用促進と空き家課題の啓発活動 ☆タウンミーティングの開催による地域の中核的中期ビジョンの策定 点から面の展開へ向けて、第二第三の成功事例を地域と生み出す仕掛けづくり これらを加入率7割以上の地域内ケーブルテレビ・法人SNSで随時発信
成果	空き家相談会とは別に、空き家の処分相談、空き家の情報、空き家を用いた地域課題解決に向けた相談の問い合わせが個人、団体問わず増加

